

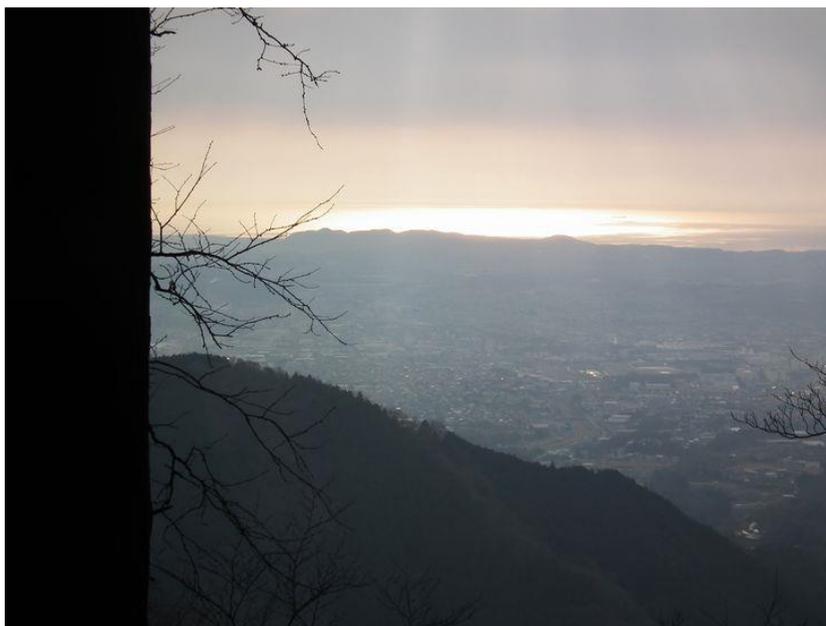
鍋割山 山行日：2月4日（木）曇り～小雪

記：イガ

コース：自宅 5:30-寄 P7:05/20…三廻部林道横断 8:05/09…櫟（くぬぎ）山 8:50/9:02…栗の木洞 9:20…後沢乗越 9:52…鍋割山 11:12/45…後沢乗越 12:38/43…後沢降り立つ 13:09…林道（ボランティア林） 13:30…寄 P14:15 参加者：イガ、他1名



寄バス停近くの駐車場に車を止める。ロウバイ祭りが催されるとのこと、幟などが沢山見られる。しばらく舗装された道を歩く。ロウバイが沢山見られる。香りが漂う。



この日は気象予報によると晴天のこと、それを信じてやってきたのだが、周囲の山々は雲に覆われ見えない。尾根から湘南の海が見えたのが唯一の展望。櫟山付近からは小雪が舞い始め寒くなる。



カヤトの櫟山
その昔は麓の萱場
だったらしい。
展望なし！



栗の木洞 奥が鍋割へ



崩壊で登山道も心細くなる後沢乗越



鍋割山小屋
さすがに鍋焼きうどんを食べる登山者は見当たらない。
とにかく寒い！
年寄りのくるところではないと！



鍋割山 西側を見るが、予定の富士山は見えす。



山頂からの下り道



木道もこのような状態です。



檜岳方面



往路の長いアップダウンを避け、後沢経由で下ることにし、乗越から 20m ほどのピークから右の尾根へ、しばらくは左写真のような快適な山道、標高差 200m ほど下ると右の写真の沢出合に降り立ち、流れを飛び越え谷を下る。



この後沢の谷は一般の登山道ではなく、植林や森の作業道とみられる。左写真のような栈道が数か所、2、30m の高さの高巻もある道となっている。そんななかでどうにか、森林の成り立ちを説明した立派な案内板が備えられている。谷歩き 20 分ほどで雨山峠への道に降り立ち、舗装された道を寄へ戻った。寒い山歩きの日、久しぶりの長丁場に足が痛む。